（別紙様式）　　（Ａ３判横）

令和７年度　学校自己評価システムシート（県立八潮高等学校）

E10

目指す学校像	「清純　真摯」の校訓のもと、未来につながる学びを通して、社会の中で力強く生きる力を育てる学校

重点目標	1　学習支援をとおして、基礎学力の定着と向上を図る。 2　生徒一人ひとりに寄り添いながら、より高い進路希望の実現をめざす。 3　基本的生活習慣を身に付けさせながら、社会の一員としての自覚や責任を育てる。 4　保護者・地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	３名
	生徒	名
	事務局（教職員）	３名

学校自己評価

年度目標／年度評価（２月１日　現在）

番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 学校生活アンケートの「興味関心や学習意欲を引き出す授業が展開されている」が85%である。 【課題】 教員の授業改善と生徒への学習支援を両立させる。	○基礎学力を定着させながら、生徒の学びの意欲を向上させる。（教務部・教育相談委員会）	①プレゼンテーション力、文章力等、自己表現力を高める授業を実施する。 ②教育相談の充実を図る。 ③特別支援教育に関する職員研修会、学習支援に関する授業研究会を実施する。	①アンケートの「学習意欲を引き出す授業の展開」が90%以上 ②アンケートの「教員やカウンセラーによる相談」が85%以上 ③授業研究会を年２回以上実施したか。	① 生徒の回答「学習意欲を引き出す授業の展開」が88.7% ② 「教員やカウンセラーによる相談」が88.7% ③ 職員研修会、年２回の授業研究協議会に全員で取り組んだ。（教務部）	A	授業研究会を軸に、教科横断的に課題を共有し改善を進めた結果、授業全体の質が高まり、生徒の学習意欲の向上につながった。今後はＩＣＴ機器を活用した学習支援を充実させ、一人ひとりの学びを最適化する取組を推進していきたい。
2	【現状】 学校生活アンケートの「進路目標が明確化できる指導が行われている」が81%である。 【課題】 大学進学における多様な入試への対応を推進するとともに、進路実現に向けた質の高い情報を提供する。	○保護者への進路情報を適切に提供して、生徒一人ひとりの進路希望をより高いレベルで実現させる。（進路指導部）	①分野別ガイダンス、講演会、二者面談等を通して継続的な進路指導を実施する。 ②保護者向け進路ガイダンスや三者面談を実施する。 ③長期休業中に進路・検定対策講座を実施する。	①アンケートの「高い目標に向けた進路活動」が85%以上 ②アンケートの「進路情報提供(保護者)」の満足度が90%以上 ③講座数が５以上、受講者が25人以上で設定したか。	① 保護者の回答「高い目標に向けた進路活動」が92.9%、生徒の回答は88.7% ② 保護者の回答「進路情報の提供」の満足度は92.9% ③ 講座数は11、受講者はのべ52人	A	早期から各種ガイダンスや個別相談を重ね、計画的に対策を進めたことにより、生徒のモチベーションが高まり、希望する進路を実現させることができた。
3	【現状】 学校生活アンケートの「学校生活は充実している」が76%である。 【課題】 集団の一員としての自覚と、社会に貢献する態度を育て、充実した学校生活のための環境を整備する。	○基本的生活習慣を確立させるため、きめ細かい生徒指導を行う。（生徒指導係） ○学校行事等を通じて社会の一員としての自覚と、責任感を育てる。（生徒会係）	①家庭と連携した遅刻指導や身だしなみ指導を継続し、あいさつを励行する。 ②学年の希望を尊重しながら、少人数だからこそ可能な学校行事や、部活動を実施する。	①アンケートの「適切な基本的生活習慣の指導」が80%以上、「あいさつ」が80%以上 ②アンケートの「学校生活は充実している」が80%以上	① 「適切な基本的生活習慣の指導」が91.5%、「あいさつ」が100% ② 「学校生活は充実している」が81.7%	A	閉校舎に伴う最終年度のため、生徒・教職員数が大きく減少する状況であったが、ＰＴＡ･後援会、同窓会の協力を得て体育祭や統合記念発表会（文化祭的行事）を充実させることができた。
4	【現状】 地域交流事業へ積極的に生徒を参加させるとともに、ＰＴＡ・後援会、同窓会等と連携しながら学校統合に向けた準備を進めている。 【課題】 ＰＴＡ・後援会、同窓会等と協力し、学校統合に係る事業を実施する。また、地域との交流をより一層深める。	○学校統合に係る諸課題を整理する。（事務室・渉外係） ○地域との交流を継続し、積極的に情報を発信する。	①校内の備品等を必要とする学校に保管転換する。 ②統合記念事業を企画・実施する。 ③市の青少年事業、小学校とのスポーツ交流事業等へ参加する。SNS、市広報等各種媒体で情報発信をする。	①備品等を必要とする学校に保管転換ができたか。 ②統合記念事業を実施できたか。 ③地域との交流事業に３回以上参加したか。月１回以上各種媒体で情報を発信したか。	① 夏季休業中に県立学校を対象に内覧会を実施するとともに随時移転を進めた。 ② PTA・後援会、同窓会と連携して統合記念発表会、閉校舎式典、学校施設開放（フェアウェルイベント）、メモリアルルームを準備した。 ③ 市のゴミゼロ運動、青少年事業、選挙事務ボラティア、地域祭事ボランティア、小学校との交流を実施した。	A	備品の移動や校舎の片付けを全生徒・教職員で進める中で、校内物品等のリユースを積極的に推進した。また、統合記念行事を企画、実施することで、地域とともに築いてきた本校のレガシーを新校に継承する取組みを行った。

学校関係者評価

実施日　令和８年２月２０日

学校関係者からの意見・要望・評価等
・ICT 機器を活用した授業により、生徒の学習意欲を引き出す魅力的な授業ができていることがわかった。 ・定期的にアンケートを実施することで、生徒が意見を言いやすくする環境づくりが大切だと思う。
・長期休業期間の講座実施や個別指導など、生徒一人ひとりに寄り添った指導が、合格、内定に結びついた。 ・従来、八潮高校の進路指導は素晴らしいものだった。今後、八潮フロンティア高校としても 100%の進路決定を目標に進めてほしい。
・体育祭、文化祭が開催でき、生徒たちによい思い出を残すことができたのがよかった。 ・保護者への周知をもう少し早めにできれば、文化祭の集客数が増えたのではないかと思う。
・学校統合という大きな環境変化の中で、ＰＴＡ・後援会、同窓会、地域と連携しながら、行事や地域交流、統合事業を一つひとつ丁寧に積み上げた点は特筆すべき取組みである。 ・生徒の学びと学校生活の充実を第一に考え、組織として一丸となって取り組まれたことに感謝します。

（別紙様式）

（Ａ３判横）